

文部科学省地域ニーズに応える産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業

新潟県 県の主要産業を支える“コーディネーター伴走型
農業リカレント教育プラットフォーム”の構築プロジェクト



TSUNAGU
Niigata

農業リカレント教育プラットフォーム 気候変動に打ち勝つ農業 シンポジウム 開催報告

2024年2月

新潟県農業リカレント教育プラットフォームでは、地域におけるリカレント教育推進に向けた取組の普及・啓発としてシンポジウムを開催いたしました。

令和4年度の酷暑の影響を鑑み、「気候変動に打ち勝つ農業」をテーマにシンポジウムを開催いたしました。

多くの方にご参加をいただきありがとうございました。

開催日 : 2024年2月5日 (月)

会場 : 朱鷺メッセ 4階 国際会議室

主催 : 新潟県農業リカレント教育プラットフォーム

参加者数 : 84名



参加費 無料

農業リカレント教育プラットフォーム
気候変動に打ち勝つ農業
シンポジウム

2024
2/5
13:00~16:00

会場 朱鷺メッセ4階 国際会議室
〒950-0078 新潟市中央区代田6-1-1号

対象 農業者、教育機関関係者、民間企業などなたでも参加可能

主催 新潟県農業リカレント教育プラットフォーム

第1部 気候変動に打ち勝つ農業

気候変動が農業を変えるスマート農業
高湿耐性品種を用いた環境に適しいコメづくりの試み

小池 聡 ベジタリア株式会社
出産産卵力向上を期して、卵の産卵率を向上させるためのスマート農業の取り組みについて、最新の技術と実践についてお話しします。

三ツ井 敬明 新潟大学農学部教授
近年の異常な暑夏の影響は、各地において、農業生産に大きな影響を与えています。そのような中、気候変動に打ち勝つ農業として、高湿耐性品種を用いた環境に適しいコメづくりの試みについてお話しします。

今和5年度産出米の等級低下要因と対応方向

土田 徹 新潟県農林水産部 経営普及課 参事(新潟県技術振興課担当)

第2部 農業リカレント教育プラットフォーム構築への取組み

農業リカレント教育プラットフォームの紹介と教育コンテンツの紹介、農業リカレントに関する意見交換のトークセッションを行います。

講師

小池 聡 (ベジタリア株式会社)
三ツ井 敬明 (新潟大学農学部)
土田 徹 (新潟県農林水産部)

お問い合わせ先
TEL: 0258-89-6221 (担当: 大塚 由香)

1/29日

第一部「気候変動に打ち勝つ農業」講演

(1) 「気候変動で変革を遂げるスマート農業」

小池 聡 様 (ベジタリア株式会社 代表取締役社長)

(2) 「高温耐性品種を用いた環境に優しいコメづくりの試み」

国立大学法人 新潟大学 大学院自然科学研究科 生命食料科学専攻
農学部 生物化学研究室 教授 三ツ井 敏明 様

(3) 「令和5年度産新潟米の等級低下要因と対応方向」

新潟県農林水産部 経営普及課 参事 (新潟米技術統括担当) 土田 徹 様

「気候変動に打ち勝つ」をテーマに3名にご登壇いただき、スマート農業、米の新たな品種や新潟米の今後の対応方向等、新たな農業の学びとしてご講演いただきました。

小池様
講演の様子



第二部「農業リカレント教育プラットフォーム構築への取組み」

(1) 各教育機関より教育コンテンツ紹介

各教育機関では、農業人材に関するニーズ調査（定量調査）の結果を参考に、農業人材のあるべき姿の設定、課題の整理を実施し、課題解決に資する提供可能なコンテンツの調査を行いました。シンポジウムでは調査結果として教育コンテンツの紹介を行いました。

<教育機関>

国立大学法人 新潟大学

国立大学法人 長岡技術科学大学

公立大学法人 新潟県立大学

公立大学法人 長岡造形大学

学校法人新潟総合学院 開志専門職大学

独立行政法人国立高等専門学校機構 長岡工業高等専門学校



教育機関による調査結果発表

第二部「農業リカレント教育プラットフォーム構築への取組み」

(2) 農業リカレントテスト講座紹介

農業者の要望が多い、データ活用とデザインの2つのテーマで新潟県立大学、長岡造形大学の2校によりテストリカレント講座を開催しました。テストリカレント講座の開催結果として、実施した講座の概要や参加者の声・所感、今後の課題などの紹介を行いました。

(3) トークセッション

有限会社そら野ファーム様、ピーチビレッジファーム株式会社様
本事業にご協力いただいた農業者と中核コーディネーターにて、
農業人材に関する課題やリカレント講座の感想、今後の展望に関
してトークセッションを行いました。データ活用に関する課題や
ブランディングの必要性、生産技術の向上と共に、外に出て学ぶ
ことの重要性や消費者からこの人の農産物を購入したいといった
選ばれる人の育成に関するトークセッションが行われました。



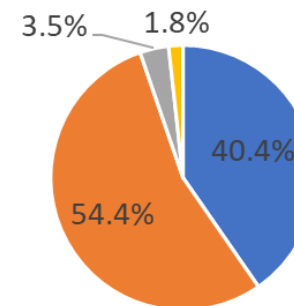
トークセッションの様子

アンケート結果

第一部「気候変動に打ち勝つ農業」について

農業の課題解決に向けて役立つ内容があったかの回答は、「非常に役立つ内容があった」「役立つ内容があった」を合わせて94.8%の結果となりました。

(1) 農業の課題解決に向けて役立つ内容がありましたか。



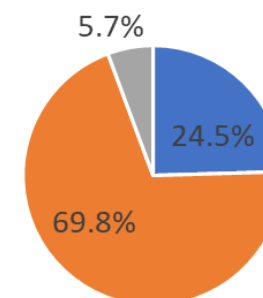
■ 1.非常に役立つ内容があった ■ 2.役立つ内容があった
■ 3.どちらともいえない ■ 4.あまり役立つ内容は無かった

第二部「農業リカレント教育プラットフォーム

構築への取組み」について

取組の理解につながったかの回答は、「非常に理解できた」「理解できた」を合わせて94.3%の結果となりました。

(1) 農業リカレント教育プラットフォーム構築への取組みに関して理解につながりましたか。



■ 1.非常に理解できた ■ 2.理解できた ■ 3.どちらともいえない

アンケート結果

第二部「農業リカレント教育プラットフォーム

構築への取組み」について

人材育成に向けて役立つ内容があったかの回答は、「非常に役立つ内容があった」「役立つ内容があった」を合わせて85.7%の結果となりました。

また参加者の声から、トークセッションの内容に関する好評の声と共に、「農業者と大学側の方々による交流、トークセッション等があると参加者のリカレント教育に対する関心がより高まる」といった声も挙げられました。

アンケート結果からも、リカレント教育の有用性は高く、継続して教育機関が有するリカレント教育コンテンツを農業者に届けていくための取組が求められていると感じられました。

多くの皆さまにご参加いただき誠にありがとうございました。

(2)人材育成に向けて役立つ内容がありましたか。

